

[付録 1] NPO 法人自然文化誌研究会 2021 年活動報告
黒澤友彦

Appendix 2: A Record of INCH in 2021
Tomohiko Kurosawa

昨年に引き続きコロナウイルスによる影響がありました。移動の制限があるため小菅村への来訪者も減り、受託事業はありませんでした。主催事業である冒険学校については開催への道を探し、例年5月に開催する「冒険学校むらまつりキャンプ」は参加者の受け入れを止め、スタッフのみによる感染対策を含めた研修会とし、8月の「こすげ冒険学校」開催への足掛かりとしました。

8月の「こすげ冒険学校」については、参加者定員15名（例年は25名）、個別就寝のための個別テントの購入と利用（濃厚接触者を出さない）、個別テントのため参加対象学年を小学4年生以上とする（例年は小学3年生以上）とし、スタッフによるオンライン会議を複数回行い、準備を進めました。開催前の8月初旬に東京都で5,000人/1日超えの感染者が発生し開催が危ぶまれましたが前年とは異なり、主催する各団体が開催を決定する方向性が社会全体であり、本会も開催を決定しました（感染者が出ることなく無事に終了）。

具体的には安全面を優先し川遊びの際はマスクを外しますが（人数制限もかける）、冒険学校中はマスクの着用、ソーシャルディスタンス、黙食などかなりの制限がありました。

制限のある中での冒険学校の開催について、未だにコロナウイルスによる生活の制限が収束していないため結論は出せませんが、少なくとも機会を求めていた参加者、そして冒険学校を支える大学生スタッフについては大きな機会であったことは間違いないようです。特に学生スタッフの育成及び関係づくりは本会にとっても必要な事であり、学生達との関係が切れてしまうと一から集めることはかなり難しいと思われるので開催できて繋ぐことができたというのが本音になります。

小菅村をはじめ本会の関わる現場に来られない中でも支えてくれました、会員および関係各位のご支援・ご協力があり感謝いたしております。



(1) 野外環境学習事業（冒険学校・のびと講座・ログ事業）

月日	事業	場所	参加者数	備考
5/3-5	むらまつりキャンプ	小菅村	10	スタッフによる研修会
8/5-11	こすげ冒険学校	小菅村	15	
12/26-28	まふゆのキャンプ	小菅村	7	
4月	野草のてんぷらとお茶つみ	東京学芸大学		中止
8月	タイ環境学習キャンプ	タイ		中止
9月	INCHまつり（ライブときのこと）	小菅村		中止

(2) ELF 環境学習中堅指導者（のびと）研修会（指導者養成事業）

月日	分類	事業	場所	参加者数	備考
	ELF	のびと研修会	小菅村		中止

(3) 植物と人々の博物館事業

月日	分類	事業	場所	参加者数	備考
通年		雑穀栽培講習会	藤野町		
通年	ゼミ	自給農耕ゼミ	藤野町、上野原市		

(4) 委託事業・案内など
なし

●出版物

民族植物学ノオト 14号（電子版）

●会員（2021年12月31日現在）

正会員：29人 一般会員：25人 家族会員：8家族

学生会員：9人 賛助会員：3人 友の会会員2人 合計76人（年会費納入者）